



## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年二、四〇〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する  
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

### 委員

湯山森本武松藤服蓮野長中辻武園重神梶柿上井井石池  
 淺田 吉藤尾澤部實田尾 村内原澤野 山崎野 田  
 美 田 久 慧 上島田  
 幸 都 良一義令正重又雅 公義太俊一雄祐照 義  
 孫晶男治雄海夫明康夫人郎一範郎郎郎一一夫俊勉仁祐

次 号 論 文 予 告

|                                 |   |   |     |
|---------------------------------|---|---|-----|
| 自由・運命・摂理……………                   | 島 | 芳 | 夫   |
| ハイデッガーにおける世界の問<br>題(未完)……………    | 辻 | 村 | 公一  |
| 倫理理論における効用の観念……………              | 神 | 野 | 慧一郎 |
| 科学的認識をめぐる合理論と経<br>験論の対立と交錯…………… | 野 | 本 | 和幸  |
| ——その現代理論哲学における意味——              |   |   |     |

前 号 目 次

|                                  |           |
|----------------------------------|-----------|
| ホワイトヘッド『過程と実在』……………              | ジョン・D・ゴビン |
| への序説……………                        | 野田又夫訳     |
| 書評 脳と電子計算機(後篇)……………              | 三谷恵一      |
| 評者: T.G. George<br>as a Computer |           |

# 會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年二、四〇〇圓又は半年一、二〇〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地三号創文社（振替口座東京九二四七二番）宛に願います  
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい（一年分又は半年分）、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送付済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に清算します

一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい  
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

## 京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和四十三年二月二十五日印刷  
昭和四十三年三月 一 日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會

京 都 大 學 文 學 部 内  
編 集 代 表

發 行 人 神 野 慧 一 郎

久 保 井 理 津 男  
東 京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地

堀 内 文 治 郎  
東 京 都 千 代 田 區 三 崎 町 二 一 六

堀 内 印 刷 所  
東 京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地

振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番  
電 話 東 京 三 六 三 一 七 一 〇（代 表）

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御注文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい  
一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、定價二五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和四十四年三月二十五日發行（每月一回）

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES  
THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XLIV

March, 1968

No. 2

---

---

*Introduction to Whitehead's "Process and Reality" (II)*

..... John D. Goheen

*Where Sufferings Are (IV)* ..... Mitsuo Moriguchi

*Freiheit und Notwendigkeit* ..... Shôzirô Toda

Published Monthly

by

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價  
二五〇圓

IBM 6427